

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 医工融合による低侵襲・高解像な感音難聴の精密診断の実現

2. 研究代表者： 藤田 岳（神戸大学 大学院医学研究科 准教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、外科的な技能・知識と工学的テクノロジーの融合により、耳の奥にある内耳蝸牛をリアルタイムに捉えて感音難聴の原因を診断し、治療につながる画期的な技術の開発を目指す研究である。

フェーズ 1 では、ロボット操作での蝸牛へのアクセス、イメージング、安定制御に絞り研究を実施し、3D 内視鏡やテラヘルツ波を利用した蝸牛内部画像の取得など、難しい課題に挑戦し着実に研究を進めている点が評価できる。

フェーズ 2 では、着実な進捗のあったフェーズ 1 の研究を発展させるとともに、臨床応用を見据えた妥当な研究計画と言える。

また、ヒトに応用できる観察デバイスを完成させたのち、治療法が望まれる蝸牛障害の難聴治療に結びつけるような研究成果に期待する。

以上